

平成 16 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社 新 川
代表者名 取締役社長 上原 宏一
(コード番号 6274 東証第 1 部)
問合せ先 経営企画部長 田辺 哲也
(TEL. 042 - 560 - 4848)

業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

平成 15 年 11 月 21 日の決算発表時に公表した平成 16 年 3 月期 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日) の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 16 年 3 月期連結業績予想数値の修正 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日)
(単位: 百万円、%)

	売 上 高	経常利益(損失)	当期純利益(損失)
前 回 発 表 予 想 (A)	20,800	980	680
今 回 修 正 予 想 (B)	22,000	1,533	1,047
増 減 額 (B - A)	1,200	553	367
増 減 率 (%)	5.8	56.4	54.0
(ご参考) 前期実績(平成 15 年 3 月期)	15,453	148	880

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 51 円 78 銭

2. 平成 16 年 3 月期通期業績予想数値の修正 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日)
(単位: 百万円、%)

	売 上 高	経常利益(損失)	当期純利益(損失)
前 回 発 表 予 想 (A)	20,000	750	500
今 回 修 正 予 想 (B)	21,300	1,204	786
増 減 額 (B - A)	1,300	454	286
増 減 率 (%)	6.5	60.5	57.2
(ご参考) 前期実績(平成 15 年 3 月期)	14,979	146	885

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 38 円 42 銭

4. 修正の理由

昨年の秋以降、デジタルカメラ、DVDレコーダー、薄型平面テレビなどのデジタル家電のほか、携帯電話やパソコン需要も回復基調を示したことから、下期以降、半導体需要が急速に拡大し、市況の回復が鮮明になりました。これにともない、各半導体メーカーの生産設備に対する投資が急激に活発化し、主力製品のワイヤボンダを中心に、受注が急増いたしました。また、その他の装置においても、半導体チップを積層して一つの半導体パッケージとするスタックドパッケージの増加により、ダイボンダの需要が増加し、受注が急増したほか、テープボンダにおいても、液晶テレビ、携帯電話の需要増加によるLCDドライバーの増産を背景に受注が大幅に増加した結果、単体、連結ともに当初予想を超える売上高および利益を確保できました。

5. 期末配当予想の修正

当期の配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせ致します。

	中間期	期末	年間
前回予想（平成15年11月21日）	5.00円	5.00円	10.00円
今回修正予想	5.00円	7.50円	12.50円
（ご参考）前期の1株当たり配当金実績	5.00円	5.00円	10.00円

以上